

# 企業支援 ウォッチ

有限会社共栄資源管理センター小郡

## 策定したBCPの実効性を高める ために、BCP机上訓練のススメ ～事業継続計画(BCP)策定事例～

BCP (Business Continuity Plan) とは、企業が自然災害・感染症などの緊急事態に遭遇した場合に、中核となる事業の継続・早期復旧を可能とするために、平時や緊急時に行うべきことを取り決めた計画のことです。

BCP策定のメリットは、①自社の経営や組織を見直す契機となる、②業務改善や取引先・金融機関等への信頼度が向上する、などのメリットがあります。(本号の特集 (p.2～) も併せてご一読ください。)

福岡県中小企業団体中央会は、県内の企業や組合のBCP策定に関して様々な支援メニューを提供しています。支援メニューはBCP策定だけではなく、策定したBCPが実際に使えるものか検証するための「机上訓練」なども実施しています。

今回は、策定したBCPに沿って机上訓練を行った、有限会社共栄資源管理センター小郡 野崎千尋社長にお話を伺いました。

### —BCP策定のきっかけ

当社は、2007年にBCPの初版を策定しました。2005年に福岡県西方沖地震があった後で、国も中小企業向けの事業継続計画作成を推進していた時期でした。

当社としても、社員の生命を守り、お客様へのサービスを絶やさないことが、経営者としての責任を果たすことであると考え、事業継続計画を策定しました。

### —BCP机上訓練に至った経緯

当社の事業は社会インフラに関わるサービスであり、衛生面の観点からも事業を途絶えさせることができません。BCP策定以降、毎年見直しを行い改版してきましたが、災害発生時に機能する計画でなければ意味がありません。次の改定に向けた課題を洗い出すためにも、机上訓練を行う必要があると考え、今回支援をお願いしました。

#### 【訓練に参加した従業員の声 (気づき)】

- ・当社は社員の多くが午前6時30分に出社するので、被災時の出社可否判断をそれよりも早く行う必要がある。
- ・予備電源は使用方法を訓練しておく必要がある。
- ・従業員の住居や業務エリアなどを平時から各自がハザードマップ上で確認しておくべきだと感じた。
- ・目の前の対応に追われてしまった。被災時には常に少し先を見て行動しないといけない。
- ・想定以上に従業員が出社できない設定だったので、対応に苦慮した。このようなケースも想定しておく必要性を感じた。
- ・実際の被災時には、マニュアルを参照できない可能性もあるので、訓練等を通して重要な点は頭に入れておく必要がある。

## 一机上訓練を終えての感想

実際に災害を想定した訓練を行うことで、新たな気づきを得られたことが収穫でした。例えば自治体と協議している防災計画とBCPの連動性をさらに高めることで、より迅速な対応が可能になると感じました。

また、私が出張で不在という設定での訓練でしたので、訓練に参加した社員が主体的に考えて判断するという点でも得るものが多かったように感じています。



訓練の様子

## 一今後について

弊社は、定期的にビジネススクール（社内の勉強会）を開催しています。その場を活用して、今回の訓練で得られた気づきを社内全体で共有するとともに、改善すべき点や新たな仕組みづくりを議論していきたいと考えています。

BCPは策定することで得られることも多いですが、有事の時に使えなければ意味がありません。これからもさらに実効性の高いBCPに高められるように取り組んでいきたいと考えています。

### 【BCP机上訓練の流れ】

#### (事前準備)

##### 1. 事前打ち合わせ

ヒアリングを行い、企業の立地や過去の災害を考慮した上で、想定される災害や時期など、訓練の際に最低限必要となる条件を設定します。

##### 2. シナリオ作成

事前打ち合わせでヒアリングした条件をもとに、想定される被害を洗い出し、時系列に沿ってシナリオを作成します。

作成したシナリオの内容が実際の業務内容と乖離していないか、擦り合わせを行います。

※シナリオの内容は、訓練責任者以外には開示しません。

#### (訓練当日)

##### 3. 直前ミーティング

訓練実施におけるルール・設定について説明します。

(ルール・設定の例)

- ・社長が出張のため不在
- ・実際時間と訓練時間の調整
- ・実際の業務連絡と訓練連絡との区分 など

##### 4. 訓練実施

シナリオに沿って訓練を行います。

##### 5. 訓練後ミーティング・講評

訓練後の気づきや改善点を全体で共有するとともに、専門家からの講評があります。

### 企業概要

企業名：有限会社共栄資源管理センター小郡

所在地：〒838-0121

福岡県小郡市上岩田766番地

TEL：0942-72-0497

FAX：0942-73-3870

URL：<http://www.kyoeisigen.co.jp/>